

1月26日、オリンピア市ー加東市姉妹都市協会等との共催によりワシントン州の州都オリンピア市内のオリンピアセンターにおいて「お正月 in オリンピア」を開催致しました。



本行事では、主に日本の新年（お正月）にまつわる日本文化がオリンピア市民に紹介されるとともに、正午からは日米桜寄贈100周年の記念式典及び記念植樹式典が実施されました。桜寄贈式典には、バクスバーム・オリンピア市長、フレイザー州上院議員、ハント州下院議員、オリンピア市ー加東市姉妹都市協会のミラー会長等が参加し、百々首席領事からバクスバーム市長に、記念植樹のシンボルとして記念シャベルを贈呈しました。日米桜寄贈100周年の記念桜は、オリンピア市内のパーシバル・ランディング、ヤシロ・ガーデン、メモリアル・ファンテンの3箇所に植樹されました。



本行事には、2千人を超える観客で賑わい、メイン・ステージでは、沖縄太鼓の演奏や餅つきのパフォーマンス、小学校合唱団による合唱、ソーラン節、落語などの多種多様な日本文化が紹介されました。また、当館も情報発信ブースを設け、鎧兜の試着コーナーや介護ロボット「パロ」の紹介を行いました。



本行事の開催に尽力された関係者の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。